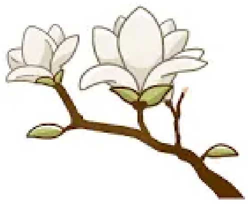
学校だより No. １１
令和８年３月１８日（水）発行
須坂市立東中学校
文責：　　　　（教頭）
https://azuma.suzaka.ed.jp/

３学期終業式　校長講話より



「まとめ」と「準備」の学期としての三学期。本年度の学びについてしっかりとまとめができたでしょうか。また、次年度に向けての準備は十分にできているしょうか。四月になるまで、まだ十三日あります。たかが十三日、されど十三日です。

「段取り八分」とよく言います。何事も下準備の度合いで次が順調に滑り出すかどうかが決まります。この十三日を大切に使い、しっかり準備をしておきましょう。

さて、この一年間を振り返って見ますと、三年生は学校の「顔」として、学校全体を引っ張ってくれました。市内の他の中学生との活動の中でも本校の存在をしっかり示してくれました。二年生は「柱」として上級生と下級生の間に立ち、学校を支えてくれました。一年生は自分という原石を、光る「宝」にするために、日々のことに一生懸命取り組んでくれました。

特に、二年生は生徒会を三年生から引き継いで、学校の運営を頑張っています。先日の三年生を送る会も素敵な時間でした。会を進めてくれた二年生にはきっと反省もあるでしょう。しかし、二年生が自分たちで企画し、運営したことに大きな意味があります。最初からすべてが順調だったわけではないと思います。やってみなければわからないこともあったはずです。体験するからこそ考えることが生まれます。結果というものは、成長の途中にある一つの通過点です。うまくいったことも、うまくいかなかったことも、みんなで振り返り、知恵を出し合って、次に生かしていけば良いのです。二年生のみなさんには、これからも自分を信じ、仲間を信じて、より良い学校を作るための挑戦を続けてほしいと思います。一年生の協力も、二年生にとって大きな力になったことでしょう。人数は決して多くありません。しかし、お互いの力が重なり合えば、実際の人数の何倍もの力を発揮することができます。

さて、人が成長するというのは、何か派手なことを一度することではありません。日々の積み重ねの中で少しずつ自分を磨いていくことです。人というのは不思議なもので、その人の言動がうわべだけのものなのか、それとも努力の積み重ねの上にあるものなのか、自然と伝わってしまうものです。

ここで、戦国時代を終わらせ江戸幕府を開いた徳川家康の言葉を紹介します。

「勝つことばかり知りて　負(ま)くること知らざれば　害その身にいたる」

勝つことばかりを知り、負けることを知らない人は、やがて自分に害が及ぶという意味です。家康自身も若い頃には何度も負け戦を経験しました。しかし、その失敗を教訓にしながら力をつけ、最後には天下を治める人物になりました。

負けたり失敗したりすると、悔しい思いや苦しい思いをします。しかし、その経験こそが人を成長させます。失敗を振り返り、次に生かすことができれば、その経験は必ず自分の力になります。

みなさんは、毎日、決まった時間に起きて学校に来て、授業を受け、給食を食べ、掃除をして、友だちと過ごしています。同じことの繰り返しのように思えるかもしれません。しかし、その一つ一つの積み重ねの中に、小さな挑戦や努力があります。みなさんは、その一日の中で、自分が昨日より少しでも成長したと感じる瞬間はありますか。地味に見える毎日の中で、人は少しずつ成長していくのです。成長というものは、特別な日に起こるのではありません。何気ない毎日の積み重ねの中で生まれていくものです。今日という一日も、みなさんの成長を作っている大切な一日なのです。

三学期が今日で終わり、令和七年度も終わります。この一年間、みなさん一人ひとりがそれぞれの場所で本当によく頑張りました。自分の努力を振り返り、次の学年への準備をしてほしいと思います。さて、あとは、明日の卒業式を残すのみとなりましたね。卒業式の主役は三年生です。中学校三年間の学校生活の中で一番大切な日です。三年生が卒業生と呼ばれる日です。立派な卒業式になることを期待しています。

３学期を振り返って
代表生徒の発表より

一年間を振り返って（１学期の抱負）

１年１組

私が、今年一番頑張ったと思えたことは部活動です。部活動では、陸上部に所属し、砲丸投げという競技を頑張りました。自分は今年陸上を始め、最初の頃は、全然結果が出ず、納得がいきませんでしたが、砲丸投げをやっていた３年生や、コーチに教えてもらって、一生懸命大会に向けて練習を頑張りました。自分を支えてくれた方々のおかげで、一年生の新人戦で一位を取ることができました。一位を取った時は本当に嬉しくて、陸上の楽しさを改めて感じ、「もっと続けたい」「もっと頑張りたい」という気持ちになりました。三年生やコーチの方にはとても感謝しています。一方で、県大会には行くことができず、悔しい思いをしました。来年こそは必ず県大会に行き、納得のいく結果を残したいです。砲丸投げを教えてくれた３年生の記録を超して、一生懸命練習をして頑張っていきたいです。

私が今年頑張りたいことは勉強です。私は全然を宿題を出せてなかったし、勉強も全然していなかったので、特に二学期のテストの点数が残念なことになってしまいました。家で勉強する時間が少ないことが原因だと思っています。家では、ゲームや YouTube にハマってしまって、ついつい時間を忘れて見てしまい、全然勉強に取り組めていないので、できるだけゲームの時間や YouTube を見る時間を減らして、勉強に取り組む時間にしていきたいです。今年は、テスト勉強の時間を増やし、教科書を読んだり、宿題を出したりすることから始めたいと思っています。毎日少しずつ勉強をする習慣をつけて、テストでも結果を出して、自分に自信をつけていきたいです。

来年は、新入生が入学、私たちは２年生になります。自分自身を見つめ変わるチャンスでもあると思っています。私生活や、学校での生活を見直し、入学してくる新一年生に頼られ、尊敬されるような先輩になりたいです。

三学期の振り返りと三年生への決意

２年１組

私がこの三学期に力を入れたことは三つあります。

一つ目は、生徒会活動です。一月から美化委員の一員となり、日々の常時活動はもちろん、特別活動のワックスがけにも丁寧に取り組みました。初めてのワックスがけでしたが、感謝の思いをこめて行うことができました。

二つ目は、合唱練習です。三年生を送る会に向けて、一年生と合同で合唱練習を行ってきました。これまではなんとなく合唱練習に参加していた自分がいましたが、小さな学校の大きな合唱を引き継ぐためにも、今まで以上に真剣に練習に取り組むことができました。その結果、本番では納得のいく合唱を一年生と一緒に作り上げることができました。

三つ目は、学習習慣の改善です。二学期まではどこか投げやりに取り組んでいた宿題に対し、三学期は一つひとつ丁寧に向き合うことができました。やらされてやる学習ではなく、自分にとって意味のある学習に少しずつなってきたように感じます。これからも継続していきたいです。

一方で、改善すべき点もありました。

まず、ルールを守れなかったことがある点です。三学期、決められているルールを疎かにしてしまう場面がありました。なぜルールがあるのかを考え、四月からは最上級生としての自覚をもって行動していきたいです。

二つ目は、時間に対する意識が低かった点です。僕は、朝の登校時間が遅れてしまうことがしばしばありました。四月には修学旅行という大きな行事も控えています。集団行動の基本である「時間を守ること」を徹底していきたいです。

四月からは、いよいよ中学三年生、最高学年であり、受験生でもあります。ルールを守り、時間を意識して行動することは、社会に出るための第一歩です。この三学期の反省を糧に、学習面でも生活面でも「受験生としての自覚」を強く持ち、充実した日々を送っていきたいです。

三年間を振り返って

３年１組

中学校の３年間が終わろうとしています。この３年間を振り返ると、たくさんの思い出が溢れ出てきます。入学したばかりの頃は不安もありましたが、少しずつ新しい環境にも慣れて、仲間とともに成長することができました。

チャレンジランキングでは、クラスやチームで励まし合い、声を掛け合いながら全力で取り組むことで、仲間と協力することの大切さや、最後まであきらめない気持ちが大事ということがわかりました。音楽会では、最初はリズムや音程がずれてしまい、なかなかうまく歌えないこともありましたが、何度も練習を重ねることで少しずつ心が一つになり、本番では美しい歌声を響かせることができ、大きな達成感を味わいました。修学旅行では、普段とは違う場所で友達とたくさん笑い合いながらかけがえのない時間を過ごし、絆をさらに深めることができました。勉強では大変なことや悩むこともありましたが、努力を続ける力や目標に向かって挑戦する姿勢が身についたと思います。

この３年間で得た経験と仲間との思い出を胸に、高校でも前向きに頑張っていきたいです。

卒業証書授与式　学校長式辞

厳しかった冬の寒さもようやく和らぎ、春の訪れを感じる頃となりました。本日ここに、東中学校令和七年度卒業証書授与式を、卒業生、ご来賓、そして保護者の皆様とともに迎えられますことは、この上ない慶びでございます。

本日、ご多用の中、須坂市産業振興部長　様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、

本校の卒業生の卒業をお祝いくださいますことに、心から感謝と御礼を申し上げます。また、保護者の皆様におかれましては､本日のお子様の姿をご覧になり､幼い頃からの様々な出来事、入学後の歩みなどが思い起こされ、感慨もひとしおのことと存じます。お子様が本日、晴れて卒業の日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、この三年間、本校の教育活動に深い御理解と温かいご声援を賜りましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ただいま卒業証書を授与いたしました、五十四名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんにとって本校での三年間はどのような時間だったでしょうか。先日の三年生を送る会で「僕たちはこの学び舎で桜と共に成長してきた」と自分たちの歩みを表現してくれました。たくさんの木々や草花が四季折々に花をつけ、季節の移ろいを感じさせてくれる、そういう自然環境豊かなこの東中学校で日々生活を送ってきたみなさんだからこそその素敵なフレーズだなと思いました。義務教育九年間の学びを終えたみなさんは、これから自分の決めた道を歩み始めます。学校の木々のように、みなさんもしっかりと自分の根っこを育ててきましたので、これからの挑戦の中で、さらに根を張り、力強く成長していけることと思います。

みなさんの学校生活での取組をよく表していることの一つとして､合唱があります。伝統「小さな学校の大きな合唱」を最高学年としてどう取り組めば良いかを、学年みんなで話し合いました。言葉で伝えるより、自分たちの歌で伝えようと、合唱そのもの、歌う姿そのもので、後輩たちに伝統とは何かを伝えようとしてくれました。東祭そして、親善音楽会では、みなさんの歌う姿から、身体が動かなくなるほどの気迫を感じました。その歌声に引き込まれ、思わず聞き入ってしまいました。ステージ上でみなさんが見せてくださったすべてが私たちに大きな感動をあたえてくれました。自分たちの歌と姿で伝統を後輩に引き継ごうという思いが、真剣で、真実で、そして真心のこもったものだったからこそ、人の心を動かしたのだと思います。みなさんがステージで見せてくださった真剣な姿と歌声は、きっとこれからも心に残り続けることでしょう。　みなさんには、自分の感受性を大切にし、どんなときも自分の選択とその結果を自分で引き受ける覚悟をもって生きてほしいと思います。それは辛辣でもありますが、美しい世界を生きるための力でもあります。

今、世の中は平和を保てるのかどうかさえ不安な状況にあります。学校という場所は、過去から未来へとバトンが受け継がれていく場所でもあります。何年先の、何十年先の、何百年先のこの地に育つ人たちが、みなさんのように、仲間と最高の思い出を作り、時には真面目に真剣に心を合わせて歌うことができるように、みなさんがこれからの未来を創っていく番です。

本校を巣立つみなさんに、茨城のり子さんの「自分の感受性くらい」という一篇の詩を贈ります。

自分の感受性くらい

茨城のり子

ぱさぱさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みず[illegible]いて
気難[illegible]
友人の[illegible]
しなや[illegible]らなのか
苛立[illegible]
近親の[illegible]
なに[illegible]わたくし
初心[illegible]
暮ら[illegible]
そも[illegible]ぎなかった
駄目[illegible]
時代[illegible]
わず[illegible]
自分の感受性ぐらい
自分で守れ
ばかものよ

彼女は終戦直後の日本を生きた詩人です。最後の「ばかものよ」という言葉は、自分に向けた叱責でしょうが、読み手に「自分できちんと考えて生きていきなさい」と訴えています。彼女の詩が教えてくれるとおり、周囲と戦うのではなく、自分と向き合い、しっかり立つための戦いなのです。

朝目が覚め、数分先に出かけることだけ考えながら忙しく準備をし、食卓に座ってごはんを食べ、日中は自分のことに専念できて、夕食の献立を想像しながら帰宅する。そして、一日の労をねぎらいながら夕飯を食べ、明日の自分に思いを巡らせ、安心して眠りにつく。当たり前のことですが、この生活が普通に送れる世の中は、自分たちで築き、守っていかなければなりません。どうかみなさん、人々の役に立ち、社会に貢献する人生を、たくましく歩んでいってほしいと思います。

卒業生のみなさんが今日という日を無事迎えられたのは、ご家族の方はもちろん、先生方、地域の皆様、卒業していった先輩、在校生、学年の仲間など、多くの支えがあってのことです。そのことを心に留め、「ありがとうございます」を伝えるべき人にきちんと伝える生き方をしてください。最後に、卒業生の皆さんに、改めて心からお祝いを申し上げるとともに、今後のご活躍と末永いご多幸を祈念して、私からの式辞といたします。

お世話になりました　～本年度転退職する職員紹介～

令和７年度末の人事異動で、以下の５名の教職員が転退任することとなりました。保護者・地域の皆様には、温かいご支援をいただきました。５名の教職員におきましては、勤務した期間に違いはありますが、東中学校の生徒のため、それぞれの立場で精一杯力を尽くして参りました。

東中を離れても、生徒の皆さんと過ごした日々を胸に、新天地での今後の活躍を祈念したいと思います。有難うございました。

連　絡

・明日より、４月５日（日）まで、春休みとなります。３年生は、新しい生活への準備を、２年・１年生の皆さんも、身の回りの整理・整頓をして、新学期からの生活に備えましょう。なお、２年生の皆さんは、春休み明けすぐに修学旅行がありますので、特に生活リズムを整え、健康に留意した生活を送るように、お願いします。

・３月２７日（金）１・２年生は準備登校日となります。作業や清掃が中心となりますので、運動着で登校、上履きを必ず持参してください。

・春休み中、万が一事故等に遭われた場合は、学校までご連絡をお願いいたします。

卒業生５４名が、東中同窓会に入会しました。